

スクール・コミュニティとは

学校を拠点にして様々な年齢層の市民が交流を深め、新たな絆を生み出すことによって、学校、家庭、地域が一体となった生涯にわたる人づくりを進め、まちづくりにつなげる地域の在り方を示したもの

〈スクール・コミュニティがめざすもの〉

- (1) 学校、家庭、地域が一体となり、市民総参加で教育のまちづくりを進めること。(教育のまちづくり)
- (2) 子ども達に「市民性」(将来のまちを支える人材)を育てるという意味を持つ。
- (3) 保護者がPTAから地域のおじさんやおばさんとなり、学校の応援団として支えてくれることを期待する。(地域の後継者づくり)
- (4) 人づくりに関わることによって、地域住民の生き甲斐づくりを推進する。そのために、学校を中心に地域住民が集まれる場を確保する。

- ◎スクール・コミュニティ…地域の姿
⇒学校を核とした人づくり、まちづくり
- ◎コミュニティ・スクール…学校の姿
⇒地域とともにある学校づくり

地域 (スクール・コミュニティ)

学校 (コミュニティ・スクール)

スクール・コミュニティは今の世の中に新たな「こやらい」を復活させる取組でもあることから、スクール・コミュニティだよりの名称を「こやらい」としています。

『児やらい』とは

昔、商都である柳井には、「子育て」を表す『児(こ)やらい』という言葉があった。この『児やらい』とは、「親や大人が前面に出て、引っ張るのではなく、子どもを前面に押し出し、親や大人が後ろから押して、地域や社会へ追い出していく」という意味で、子どもの自立心を養うことに重点を置いた子育て。

自己紹介

今年度から、柳井市に配置されました地域学校協働活動推進員の本田哲也です。柳井小学校内の『柳井市スクール・コミュニティセンター』で週3日、月・火・木の10時から17時に勤務しています。学校・家庭・地域の協働活動がよりよいものになるように取り組んでいきたいと思っています。よろしく願いいたします。

地域学校協働活動

地域が学校や子どもたちを「応援・支援」という一方向の関係から、**地域と学校がパートナーシップに基づき双方向の関係となっていく活動のこと**
【地域学校協働活動推進員 ハンドブック】
～令和2年4月 山口県教育委員会～